



深沢京子
主任看護師長

「早くきれいに治す」をモットーに、高度医療、急性期治療を行っている山梨県立中央病院。婦人科病棟では、患者の標準的な治療スケジュールを示す「クリニカルパス」を見直し、入院日数の短縮に取り組んでいる。深沢京子主任看護師長は、「患者さんが1日も早く家に帰り、日常生活に戻れるようにサポートしたい」と話す。

医療最前線

県立中央病院から
(170)

クリニカルパス修正前後の平均入院日数

傷病名	手術	修正前	修正後	結果
子宮悪性腫瘍	子宮悪性腫瘍	8.1	7.4	-0.7日
卵巣良性腫瘍	卵巣部分切除	6.1	5.4	-0.7日
子宮良性腫瘍	腹腔鏡下 子宮筋腫摘出	6.6	5.6	-1.0日

婦人科治療日程を見直し ロボット手術で入院短縮

「早くきれいに治す」をモットーに、高度医療、急性期治療を行っている山梨県立中央病院。婦人科病棟では、患者の標準的な治療スケジュールを示す「クリニカルパス」を見直し、入院日数の短縮に取り組んでいる。深沢京子主任看護師長は、「患者さんが1日も早く家に帰り、日常生活に戻れるようにサポートしたい」と話す。

して術後の痛みが少なくと評価結果で明らかに becoming おり、入院日数の短縮が可能であると考えていた。また、全国の500床以上の病院における平均入院日数の調査で、婦人科の同じ病気をより短い入院日数で治療している同規模病院があることが分かり、短縮化を検討。看護師や医師らで話し合い、病気に合わせて治療の質を標準化するため設けているクリニカルパスから見直すことにした。

婦人科では2014年に腹腔鏡手術を、16年に手術支援ロボット「ダヴィンチ」を用いたロボット手術を開始。15年には腹腔鏡手術の件数が従来の開腹手術を上回り、今で

は全体の8割を占めるまでに なっている。また、婦人科の患者は40〜50代の若い世代が多く回復が早いこと、家庭や仕事に早く復帰したいというニーズもあることから、クリニカルパス短縮を決めた。

ロボット手術のクリニカルパスは、退院を「術後4日目」としていたのを「術後3日目」に修正。腹腔鏡による卵巣摘出術、子宮全摘術は、退院を「術後4日目」から「術後3日目」に短縮した。

こうした見直しにより、平均4木曜日に掲載します

退院後の生活の不安を軽減するため患者への事前の説明や退院指導